SONY®

NEX-3/NEX-5

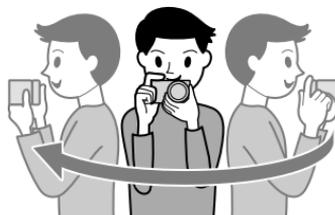
ここでは、バージョンアップにより追加される3D機能について説明しています。
本機の「取扱説明書」およびCD-ROMに収録されている「αハンドブック」もあわせてお読みください。

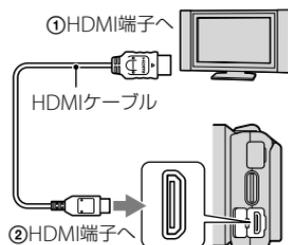
A-DRG-100-**02**(1)

3D機能について

本機で撮影した3D画像は、3D対応テレビでのみ3D画像を再生できます。
本機の液晶モニター、3Dに対応していないテレビでは、通常の静止画と同じように再生します。

撮る

3D画像を撮影するときは、イラストのように本機をスイングさせて撮影します。

見る

3D対応テレビと本機をHDMIケーブル（別売）で接続します（9ページ）。

3D画像のファイル名

3D画像は、JPEGファイルとMPOファイルから構成されます。
[3Dスイングパノラマ]で撮影した画像をパソコンに取り組むと、

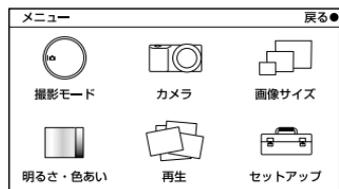
- DSC0□□□.jpg
- DSC0□□□.mpo

という2つのファイルが、同じフォルダー内に保存されます。
パソコンでJPEGファイルとMPOファイルのどちらかを削除すると、再生できない場合があります。

ご注意

- 本機で撮影した3D画像を3D対応モニターでご覧になる場合、眼の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D画像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断してください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D画像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。本機に接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。なお、お子様の（特に6歳未満の幼児）の視覚は発達段階にあります。お子様が3D画像を鑑賞する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子様に上記を守らせるように監督してください。

追加される3D機能

バージョンアップを行うと、メニュー項目の中に新たな機能が追加されます。

メニュー	新しく追加される機能	内容
撮影モード	3Dスイングパノラマ	3Dスイングパノラマ撮影をする。
カメラ	3Dパノラマ撮影方向	3Dの撮影方向を設定する。
画像サイズ	3Dパノラマ：画像サイズ	3D画像のサイズを選択する。
再生	スライドショー→画像種別	3D対応テレビと接続時、3D画像だけをスライドショーすることができる
再生	3D鑑賞	3D対応テレビと接続して3D画像を再生する。

3Dスイングパノラマ

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚の3D画像を作成します。

1 [メニュー] → [撮影モード] → [3Dスイングパノラマ]を選ぶ。

2 撮りたい被写体の端にカメラを合わせ、シャッターボタンを深く押し込む。

撮影されない部分

3 液晶画面上の矢印方向に、ガイドの終わりまでカメラを動かす。

ガイド

ご注意

- 一定時間内にパノラマ撮影画角に満たなかった場合、足りない部分はグレーで記録されます。カメラを動かすスピードの目安は、E18-55mmレンズの広角端（18mm）で、半周約6秒です。またズームを望遠にするほど、より遅く動かす必要があります。
- ズームレンズの場合、望遠側で撮影するとグレーで記録される部分が出やすくなったり、撮影が中断されることがあります。ズームレンズは広角側で撮影することをおすすめします。
- 3Dスイングパノラマ中は連続撮影になり、撮影終了までシャッター音が鳴り続けます。
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目がなめらかに記録できない場合があります。
- 暗いシーンでは画像がブレる場合があります。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定ではなくなります。
- 3D撮影される画角全体と、シャッターボタンを半押ししてAE/AFロックしたときの画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できないことがあります。このようなときは、AE/AFロックする場所を変えて撮影してください。
- 以下の場合は3Dスイングパノラマ撮影に適していません。
  – 動いている被写体
  – 主要被写体とカメラの距離が近すぎる
  – 空、砂浜、芝生など、似たような模様が続く被写体
  – 波や滝など、常に模様が変化する被写体
  – 太陽や電灯など、周囲との明るさの差が大きい被写体
- 以下の場合は3Dスイングパノラマ撮影が中断されることがあります。
  – カメラを動かす速度が速すぎる、または遅すぎる場合
  – ブレ過ぎた場合
- 3D画像はJPEGファイルとMPOファイルから構成されています。パソコンでどちらかのファイルを削除すると、再生できない場合があります。
- 撮影方向は左右方向のみです。

次のページにつづく↓

3D撮影のポイント

一定の速度で円を描くように動かし、以下のポイントを参考にして液晶画面の矢印方向と平行に動かしてください。通常のスイングパノラマの半分程度のスピードで動かすことをおすすめします。

- 動きの無い被写体を撮る。
- 被写体と背景との距離を充分にとる。
- 屋外などの明るい場所で撮る。
- シャッターボタンを半押しして、ピントや露出、ホワイトバランスをロックしてからシャッターボタンを深押しし、カメラを動かしてください。

- ズームレンズの場合は、W端にして撮影することをおすすめします。

3Dパノラマ撮影方向

3Dスイングパノラマ撮影時、カメラを動かす方向を設定します。

1［メニュー］→［カメラ］→［3Dパノラマ撮影方向］→希望のモードを選ぶ。

✓	➡(右)	左から右に向かって撮影する。
	⬅(左)	右から左に向かって撮影する。

画像サイズ

3Dスイングパノラマ撮影時の画像サイズを選びます。

1 ［メニュー］→［画像サイズ］→［3Dパノラマ：画像サイズ］→希望のモードを選ぶ。

	16:9（16:9）	左右：1920×1080
✓	STD（標準）	左右：4912×1080
	WIDE（ワイド）	左右：7152×1080

画サイズを選ぶポイント

選ぶモードによって、テレビで再生するときの見えかたが異なります。

16:9　標準　ワイド

［標準］［ワイド］選択時は、コントロールホイールの中央を押すとスクロール再生になります。

画像種別

3D対応テレビと接続してスライドショーするときに、3D画像だけをスライドショー再生することができます。

1 [メニュー] → [再生] → [スライドショー] → [画像種別] →希望のモードを選ぶ。

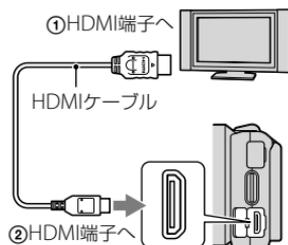
✓	**全て**	メモリーカード内にある静止画すべてを通常の静止画で再生する。
	3Dのみ(3D表示)	3D画像のみ表示する。

3D鑑賞

3Dスイングパノラマ撮影した画像を、3D対応テレビで見るときに設定します。
本機と3D対応テレビをHDMIケーブル（別売）で接続してください。

1 本機と3D対応テレビをHDMIケーブル（別売）でつなぐ

2 [メニュー] → [再生] → [3D鑑賞] → [実行] する。

撮影した3Dパノラマ画像がテレビに表示される。
[標準] [ワイド] 選択時は、コントロールホイールの中央を押すとスクロール再生になる。

ご注意

- 3D鑑賞時は3D画像のみ表示されます。
- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。映像や音声が出力されません。また、故障の原因となります。
- 一部の機器では、3D出力できない、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。
- 本機側はHDMIミニ端子、テレビ側はテレビの端子にあったタイプのHDMIケーブルをお使いください。
- テレビ側から3Dメガネに出力される信号の影響で、別売のワイヤレスリモートコマンダー（RMT-DSLR1）の操作が効かないことがあります。リモコン使用時はテレビ側に本機のリモコン受光部を向けず、テレビと本機をできるだけ離してください。（NEX-5のみ）

3D以外の画像をテレビで見るには

[3D鑑賞] を選ぶと、3D画像のみテレビに表示されます。
3D以外の画像を見るには、コントロールホイールの下を押して [3D鑑賞] を終了してください。
3D表示に戻すには、再度コントロールホイールの下を押します。
一覧表示にしたい場合は、[メニュー] → [再生] → [一覧表示] を選んでください。